

# はじめてのスペイン語講座

## 第16回 程度を表す表現



HOLA. みなさんこんにちは!

2014年最初のスペイン語講座です。今年も楽しくスペイン語を勉強していきましょう♪

さて、今回のテーマは「程度を表す」表現です。

まとまって学習するのははじめてですが、みなさん必ず目にしたり、使ったりしてきたものがあるので、おさらいの部分も多いのではないかと思います。この機会に全て覚えてしまいましょう。

#1

① まずは、「たくさん」とか「少し」などといった表現について、順に勉強しましょう。

下の絵を見て下さい。上から程度の多い順に「**muy / mucho** (とてもたくさん)」、「**bastante** (かなり)」、「**un poco** (少し)」、「**poco** (ほとんど〜ない)」、「**nada** (全く〜ない)」となります。

これらを自由に使うためには、いくつかのルールを覚えておく必要があります。一つずつ説明していきますが、まずは例文を見ていきましょう。

まずは、これらの表現を文中のどこに置くべきか覚えましょう。右のイラストを見て下さい。マリさんが忙しそうに働いている一方マサオさんは、あんまり仕事がない様子ですね。

**Mari está **muy** ocupada.** (マリさんはとても忙しい。)  
★形容詞の前 忙しい(形容詞)

**Ella trabaja **bastante** rápido.** (彼女はかなり速く働く。)  
★副詞の前 速く(副詞)

**Masao tiene **poco** trabajo.** (マサオさんは仕事がほとんどない。)  
★名詞の前 仕事(名詞)

上の文章を見てみると、これらの表現を★形容詞、★名詞、★副詞と共に使う場合には、それぞれの前に置くべきことがわかります。

今度は、次の文章を見てみましょう。

**Él no trabaja **nada**.** (彼は、全く働かない。)  
働く(動詞) ★動詞の後

先ほどの3つとは違い、★動詞と合わせて使う時には、程度を表す表現は、動詞の後に置くことも覚えておきましょう。



**Masao tiene poco trabajo. Él no trabaja nada.**

マサオさんは、仕事がほとんどありません。彼は、全然働きません。



**Mari está muy ocupada. Ella trabaja bastante rápido.**

マリさんは、とても忙しいです。彼女はかなり速く働きます。

**MUY / MUCHO**  
とても(たくさん)

**BASTANTE**  
かなり

**UN POCO**  
少し

**POCO**  
ほとんど〜ない/  
あまり〜ない

**NADA**  
全く〜ない

多  
↑  
↓  
少

次は **MUY** と **MUCHO** の違いについても着目しておきましょう。どちらも、「とても(たくさん)」といったように、程度が大きいことを表す表現です。簡単に違いをまとめると、以下のようになります。

PRENDE! 覚えましょう!

<MUYとMUCHOの使い分けルール>

★ **MUY** は 形容詞/副詞と合わせて使う。

★ **MUCHO** は 動詞/名詞と合わせて使う。

例

☆ **MUY** + 形容詞の場合

**Aprender japonés es muy difícil.** 日本語を学ぶことは、とても難しい。

☆ **MUY** + 副詞の場合

**Mi hermano cocina muy bien.** 私の兄は料理がとても上手だ。

● 動詞 + **MUCHO** の場合

**Mi tía habla mucho.** 私のおばさんは、とてもたくさん話す。

● **MUCHO** + 名詞の場合

**Mi padre tiene mucha paciencia.** 私の父はとても忍耐力があります。

\* mucho+名詞の場合、名詞の性・数によって、mucho, mucha, muchos, muchasに変化させる必要があります。

今度は、程度の「少なさ」を表す、**POCO** と **UN POCO** についても、使い方の違いを覚えましょう。ぱっと見ると、ほとんど変わらないこの2つの表現、

混同して使ってしまうがちなので、気をつけて下さい。どちらも、少ないということを言いたいのですが、**un poco** の場合は「少し(であっても)ある」ということが重要で、**poco** の場合は、「少ししかない」という意味合いになります。

**Tenemos un poco de dinero. ¡Vamos a tomar algo!**

私たちは少しお金を持っています。一緒に何か飲みに行きましょう!

上の文章では、「少しだけれども、お金がある」と、肯定的な意味になっていることがわかります。

\*「少し(名詞)がある」といいたい時は、「un poco + de + 名詞」になります。「de」を忘れずにつけましょう。(× Tenemos un poco dinero.)

今度は、**poco** を使った文章です。

**Tengo poco dinero. No puedo comprar nada.**

私はほとんどお金を持っていません。何も買うことができません。

今度は、「ほんの少ししか、お金がない」と、否定的な意味になっていますね、少しの違いで大違いなので、気をつけて!

\* poco+名詞の場合は、much+名詞と同様、名詞の性・数に応じて、poco, poca, pocos, pocasと、変化させなければなりません。

PRENDE! 覚えましょう!

<UN POCOとPOCOの使い分けルール>

★ **UN POCO** の場合は「少し(であっても)ある」(肯定的)

★ **POCO** の場合は、「少ししかない」(否定的)

次に、NADAの使い方について見ておきましょう。

NADAは、程度がもっとも低い、「何もない」状態、つまり「0（ゼロ）」であることを表します。

まず、他の表現と大きく違う点は、NADAを使う文章の場合、動詞の前に否定を表す語（この場合はNOが最もよく使われますが、時には、NuncaやJamásなどが使われる時もあります）が必ず付くということです。下のルールをしっかり覚えて下さいね。

## APRENDE 覚えましょう！

<NADAを使う際のルール>

★ 程度を表すため、NADAを使う場合は、動詞の前にNOを付けて否定形にする。

※必ずセットで使いましょう！

例 **Mi hermana no estudia nada.** 私の妹は全く勉強しない。  
(× **Mi hermana estudia nada.**)

**Ella no es nada estudiosa.** 彼女は全く勉強家でない。  
(× **Ella es nada estudiosa.**)

以下の例文で、使い方を確認しておきましょうね。

- **¿Has leído este libro? ¿Qué tal?** この本は読んだ？どうだった？

- **Bueno, para mí, no era nada interesante.**

★形容詞

うーん、私にとっては、全く面白くなかったわ。

② 最後になりましたが、①で出て来なかった表現「demasiado（～過ぎる/あまりにも～な）」を見ておきましょう。これは、程度が大き過ぎることを表すため、しばしば否定的なニュアンスを含みます。



**Mari tiene demasiado trabajo.**

マリさんは、仕事が多すぎてもたくさんあります。



**Masao la va a ayudar.**

マサオさんはマリさんを手伝います。

①では、マリさんが、忙しそうに仕事をしていました。単に仕事が多すぎるといえる時には、muchoを使って、以下の表現ができましたね。

**Mari tiene mucho trabajo.** (マリさんは、多くの仕事を抱えている。)

今度は、左の絵を見てみて下さい。マリさんが、高く積上った書類に埋もれそうになりながら働いています。とても1人で片付けられる量ではありません。そんな時は、demasiadoを使います。

**Mari tiene demasiado trabajo. Masao la va a ayudar.**

(マリさんが多過ぎる仕事を抱えているので、マサオさんは彼女の仕事を手伝う。)

マサオさんがマリさんを助けてくれました。優しい同僚ですね。マリさんもうれしそうです。

最後にもう一つだけ例文を見ておきましょう。

- **¿Por qué no quieres comer nada? ¿Te duele el estómago?**

(どうして何も食べたくないの？お腹がいたいなの？)

- **No. Es que hoy he comido demasiadas galletas.**

(うーん、実は、今日クッキーを食べ過ぎちゃったんだ。)

程度を表す表現、使い方を覚えればあとは実践あるのみ。がんばりましょう！



\* 左の二つの例文からわかるように、「demasiado + 名詞」の時は、「poco」と同様に、名詞の性・数によって形を「demasiado」、「demasiados」、「demasiadas」、「demasiadas」変化させる必要があります。  
「demasiado trabajos」の場合は、後に来る名詞が男性名詞単数形なので「demasiado」となり、その次の「demasiadas galletas」の場合は、「galletas」と女性名詞複数形なので、「demasiadas」を使わなくてはなりません。



un descanso....

## 《POCO + 形容詞について》

今回で学んだ、<POCO>と<UN POCO>の違いを踏まえて、POCO+形容詞について、少し見ておきましょう。まずは、次の文章です。

1. **Ahora, estoy un poco nervioso.** (今、私は少し緊張しています。)

緊張している (形容詞)

この場合は、形容詞「nervioso」の度合いが「un poco」と少ないので、単純に「少し緊張している」と訳すことができますね。では、次の文章を見てみましょう。

2. **Ahora, estoy poco nervioso.** (今、私は、ほとんど緊張していません。)

緊張している (形容詞)

2のように、「poco+形容詞」と使う場合には、「ほとんど～でない」というふうには、pocoの後にくる形容詞を否定する役割を果たします。

上の文章を例にすると、形容詞「nervioso」であることが、「あまり/ほとんどない」ので、「あまり緊張していない」と訳すことができます。「un」があるかないかで、ほぼ正反対の意味になってしまうので、聞き取りの際は十分注意が必要ですね。

また、上の「poco」を使った表現とほぼ同じ意味を持ち、より頻りに使われるのが、以下の形です。

3. **Ahora, no estoy muy nervioso.** (今、私は、あまり緊張していません。)

「とても、緊張している。」を否定するため、↓のような意味になります。

どちらかという、3の表現の方が2に比べて若干控えめな印象をうけます。こちらを使う方が、聞き間違いもないですし、便利かもしれませんね。

この場合、nada は interesante (面白い) という形容詞にかかっていますね。interesanteの程度が「ゼロ」なので、日本語では『全く面白くなかった/とてもつまらなかった』と訳されます。

次の例を見ておきましょう。

- **¿Te gusta la comida japonesa?** 日本料理は好き？

- **No. Porque no me gusta nada el pescado crudo.**

★新詞

うーん、だって、生魚が大嫌いだから。。。

この場合のnada は gustar という動詞にかかっています。gustarの程度が「ゼロ」なので、『全然好きじゃない』→『大嫌い』という訳になります。

最後にnadaの効用について、覚えておきましょう。

例えば、上の文章を例にすると、

**No me gusta nada el pescado crudo.**の場合、nadaを使わずに、**No me gusta el pescado crudo.** (生魚は好きではない。)と言っても、意味するところが劇的に変わるわけではありません。

しかし、nadaを付けることによって、更に否定のニュアンスを「好きではない」→「大嫌い」に強調することができます。

場合によっては、nadaを使うことによって、思いのほか、キツイ印象を与えてしまうこともあるので、使う時には注意が必要です。

こういった表現を覚えると、より自分の言いたいことが的確に言えるようになりますね。次に出てくるdemasiadoも覚えれば程度の表現は一通り、マスターできます。



- ・一般・旅行・商業・DELE検定対策・プライベートなど目的やペースに合わせて選べるコース
- ・ネイティブ講師だからプチ留学気分です
- ・自然なスペイン語がマスターできる!
- ・振替ができるので忙しくても安心!
- ・月謝払いOK!
- ・無料体験レッスン、教室見学等☆随時受付中

スペイン語教室 ADELANTE  
〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館2F  
TEL: 06-6346-5554 • FAX: 06-6110-5122  
E-mail: info@adelante.jp • http://www.adelante.jp

イラスト：田中 文子